開講学科	教職センター(生物工学科)	前標	<b>新工科大学</b>	シラバ	ズ	
		標準対象年次	選択/必修	科目コード		
科 目 名	教育課程論	2 年次	必修	21000501		
		単位数	学期	<u> </u>	 時 限	
担当教員	一番さつき	2 単位	前期	火曜日	1 時限	
		 を理解するととも	 」に教育課程編成	成への展望が	得られること	
目的・目標 到達目標:・教育課程の変遷と現在日本で取り組まれている教育課程の実際を把握する。 ・教育課程を編成するための方法原理や教育評価のあり方を認識し、そのための基礎的な能 獲得する。						
	・現代社会の課題に挑戦する教育課程の想を得ること。	の試みを知り、こ	これからの教育活	舌動をつくり	だしていく着	
学科の学習·教 目標との関係	で有 「教員として働くことの意義を理解しめに、教育の基礎理論に関する科目、					
キーワード	教育課程 学習指導要領					
授業の概要	学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程について、その教育活動の意義や 相互の関係を理解するための基本的な課題について考察していく。とくに教師がどのように教育 課程を編成し、どのように生徒の諸能力の発達に関わっていくのか、教育課程編成の原理と実際 について理解をはかる。視聴覚教材、履修者によるリサーチやプレゼンテーション、議論などを 盛り込みながら展開する。					
授業の計画	第1回: 教育課程と今日の課題					
	第2回: 近代日本の教育課程の歴史					
	第3回: 現代日本の教育課程――学習指導要領の成立					
	第4回: 学習指導要領の変遷(1)					
	第5回: 学習指導要領の変遷(2)	第5回: 学習指導要領の変遷(2)--「ゆとり教育」 新学力観 「生きる力」				
	第6回: 教育課程の論理と構造ー					
	第7回: 教育課程再編の動向――生活科 小学校英語教育					
	第8回: 教育課程の編成(1) ——教育課程編成の構成要件					
	第9回: 教育課程の編制(2)-	一教育課程編成の	の原則			
	第10回: 新しい教育課程編成の試	み				
	第11回: 特別活動の意義と役割					
	第12回: 現在の道徳教育をめぐる	課題				
	第13回: 教育課程の評価					
	第 14 回: 教育課程の社会的側面					
	第15回: まとめ――新しい学校の創造のために					
受講条件 •	受講条件:教職課程履修登録者					
関連科目	教育の基礎的理解に関する科目(教育課程の意義及び編成の方法)					
授業方法	講義、その後、受講者による発表およびディスカッション。 講義に際しては必要に応じて資料を配付し、参考図書等を紹介する。					
テキスト・参考	参考書:田中耕治他『新しい時代の教育課程 第3版』(有斐閣、2011)、教育目標・評価学会編『「評価の時代」を読み解く』(日本標準、2010)					
成績評価	課題発表および期末レポート、授業参加シートの提出とその内容を総合的に評価する。					
履修上の注意	特になし。					